



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月3日

上場会社名 タキロンシーアイ株式会社  
 コード番号 4215 URL <https://www.takiron-ci.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 一也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 大久保 俊哉

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	98,489	5.5	6,386	20.6	6,594	20.5	3,977	66.5
2020年3月期第3四半期	104,169	7.4	5,296	28.7	5,474	27.8	11,869	125.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,941百万円 (58.6%) 2020年3月期第3四半期 11,921百万円 (140.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	40.85	
2020年3月期第3四半期	121.90	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	136,895	84,435	60.5	851.33
2020年3月期	144,956	82,840	56.1	835.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 82,889百万円 2020年3月期 81,362百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		13.00		24.00	37.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期 期末配当金の内訳 普通配当14円00銭 記念配当10円00銭

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	5.3	7,000	5.1	7,300	4.1	4,000	69.4	41.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	97,500,000 株	2020年3月期	97,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	135,789 株	2020年3月期	155,980 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	97,359,509 株	2020年3月期3Q	97,367,674 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていくなかで持ち直しに向かっておりますが、感染の再拡大により先行きについては不透明な状況が続いております

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は98,489百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は売上原価および販売管理費の低減により6,386百万円（前年同期比20.6%増）、経常利益は6,594百万円（前年同期比20.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に当社連結子会社における固定資産の譲渡による特別利益を計上した反動があり3,977百万円（前年同期比66.5%減）となりました。

次に、事業セグメント別の概況をご報告します。

#### 建築資材事業セグメント

住設建材事業は、主力のポリカーボネート製採光建材および住設資材において、コロナ禍における巣ごもりによりホームセンターでの需要は引き続き堅調に推移しましたが、新設住宅着工戸数の低迷が続き減収となりました。また、サイン事業についてもユーザーの広告宣伝費削減の影響を受け、企業向け需要が大幅に落ち込み、事業全体としては減収となりました。

床・建装事業は、床部門において、コロナ禍によるマンション改修工事の延期により減収となりました。建装部門においても、コロナ禍により国内の建築物件向けは大きく落ち込み、海外については、欧州向けが回復基調にあるものの、北米、中国市場向け案件においてキャンセルや遅延が発生し、事業全体としての売上は大幅な減収となりました。

その結果、建築資材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は31,313百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益は1,780百万円（前年同期比26.0%減）となりました。

#### 環境資材事業セグメント

アグリ事業は、前年風害需要の反動、引き続きコロナ禍による生産者買い控えや事業物件の遅れ・延期等の影響もあり市場の需要回復は見られず、農業用フィルム・ハウス関連資材ともに減収となりました。

インフラマテリアル事業は、コロナ禍による工事遅延の影響が依然として続き、12月に入ってからの大雪による工事遅延も発生したため減収となりましたが、災害復興需要や更生管事業の堅調な推移、ハウエル管の大型物件受注により利益伸長しました。

その結果、環境資材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は39,815百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は1,646百万円（前年同期比56.9%増）となりました。

#### 高機能材事業セグメント

高機能材事業は、半導体製造設備の需要回復を受けて、主力の工業用プレートが増収となりました。PETプレートも飛沫防止パネル向けを中心に好調を持続しました。ナノ材料も通信機器やデータセンター設備の旺盛な需要を背景に伸長しました。一方、マイクロモータ、光学用ポリカーボネートシート、眼鏡フレーム材料は一部で持ち直しの兆しがあるものの消費低迷の影響を受け減収となりました。

その結果、高機能材事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は12,357百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益は1,080百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

#### 機能フィルム事業セグメント

ボンセット事業は、シュリンクフィルムが国内販売および欧州市場で苦戦したものの、北米市場のコロナ禍における巣ごもり需要により増収となりました。

サンジップ事業は、ジッパーテープが日本国内、アジア、欧米を中心に堅調に推移し、増収となりました。

その結果、機能フィルム事業セグメントの当第3四半期連結累計期間における売上高は14,685百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1,625百万円（前年同期比94.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より8,061百万円減少し、136,895百万円となりました。これは主に電子記録債権、機械装置及び運搬具が増加したものの、受取手形及び売掛金、預け金が減少したことによるものです。

一方、負債は、前連結会計年度末より9,655百万円減少し、52,459百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、未払法人税等が減少したことによるものです。

また、純資産は、前連結会計年度末より1,594百万円増加し、84,435百万円となりました。自己資本比率は、60.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年10月23日に「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」において公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,746	7,787
受取手形及び売掛金	38,036	36,338
電子記録債権	7,182	9,523
商品及び製品	13,779	13,454
仕掛品	3,435	3,900
原材料及び貯蔵品	5,431	5,956
預け金	12,220	3,449
その他	1,378	2,224
貸倒引当金	△46	△30
流動資産合計	90,165	82,602
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,604	15,151
機械装置及び運搬具(純額)	9,272	10,347
土地	12,903	12,898
建設仮勘定	1,909	638
その他(純額)	2,333	2,511
有形固定資産合計	42,023	41,547
無形固定資産		
投資その他の資産	2,956	2,735
投資有価証券	3,274	4,052
繰延税金資産	3,598	3,147
その他	2,939	2,811
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	9,810	10,009
固定資産合計	54,790	54,292
資産合計	144,956	136,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,854	22,730
電子記録債務	4,488	4,837
短期借入金	5,085	4,009
未払法人税等	4,854	729
賞与引当金	2,204	1,189
その他	7,197	8,028
流動負債合計	49,683	41,525
固定負債		
長期借入金	—	150
繰延税金負債	476	405
退職給付に係る負債	8,986	7,176
資産除去債務	157	157
その他	2,811	3,044
固定負債合計	12,432	10,934
負債合計	62,115	52,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	30,981	30,981
利益剰余金	36,738	37,401
自己株式	△100	△86
株主資本合計	82,808	83,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△530	337
繰延ヘッジ損益	△3	△7
為替換算調整勘定	△536	△594
退職給付に係る調整累計額	△376	△331
その他の包括利益累計額合計	△1,446	△595
非支配株主持分	1,478	1,546
純資産合計	82,840	84,435
負債純資産合計	144,956	136,895

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	104,169	98,489
売上原価	75,044	69,400
売上総利益	29,125	29,088
販売費及び一般管理費	23,829	22,701
営業利益	5,296	6,386
営業外収益		
受取配当金	141	109
受取賃貸料	116	107
その他	293	259
営業外収益合計	552	476
営業外費用		
支払利息	87	44
売上割引	43	41
賃貸収入原価	74	69
その他	168	112
営業外費用合計	373	268
経常利益	5,474	6,594
特別利益		
固定資産売却益	12,305	8
投資有価証券売却益	38	1
事業譲渡益	78	—
特別利益合計	12,423	9
特別損失		
固定資産処分損	234	64
ゴルフ会員権評価損	—	0
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	46	363
特別損失合計	280	429
税金等調整前四半期純利益	17,617	6,175
法人税等	5,691	2,035
四半期純利益	11,925	4,139
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	162
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,869	3,977



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	11,925	4,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	170	867
繰延ヘッジ損益	1	△3
為替換算調整勘定	△172	△107
退職給付に係る調整額	△4	45
その他の包括利益合計	△4	802
四半期包括利益	11,921	4,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,882	4,827
非支配株主に係る四半期包括利益	39	114

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	35,190	41,424	12,703	14,501	103,819	350	104,169	—	104,169
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	242	369	1,758	32	2,403	0	2,403	△2,403	—
計	35,432	41,794	14,462	14,534	106,223	350	106,573	△2,403	104,169
セグメント利益	2,405	1,049	856	836	5,147	61	5,209	87	5,296

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表計 上額 (注3)
	建築資材 事業	環境資材 事業	高機能材 事業	機能 フィルム 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客への売上高	31,313	39,815	12,357	14,685	98,172	316	98,489	—	98,489
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	107	329	1,792	27	2,257	0	2,257	△2,257	—
計	31,420	40,145	14,149	14,713	100,429	317	100,746	△2,257	98,489
セグメント利益	1,780	1,646	1,080	1,625	6,133	41	6,175	211	6,386

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、試験機の販売事業等を含みます。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。